

守山まるごと活性化 議事要旨

作成日:2016/02/08

作成者:飯田

会議名: 第6回グループリーダー会議

日時: 平成28年2月5日(金)

場所: 速野会館 小会議室

出席者: 山本富夫、岡本善広、伊藤潔、今井孝雄、堀江 清、今井 寿一

出席者(行政): 坪内課長・高山主任(地域振興)、金森館長・飯田主事(会館)

議題

各プロジェクトの今年度の実績報告と次年度の計画、Fプロジェクトの実施計画、予算執行見込み

会議要旨

内容

1 元気塾あいさつ

元気塾がBプロジェクトに入るのが終了したためお礼の挨拶と実施報告

2 各プロジェクトの今年度の実績報告と次年度の計画について

詳細資料のとおり

※Cプロジェクト:ノルディックウォーキングを現在文体が実施しているのを、地球市民の森でもできないか検討中。

※Dプロジェクト:大川フォーラムで実施された県立大の発表を、もう一度自治会向けにできないか検討中。

3 平成28年度Fプロジェクトの実施計画について

学区として取り組むべきことが何か、当初の計画を見直し、実施項目を絞った。

・まちづくりの組織の見直しと次代のリーダー育成(まちづくりの組織編制、リーダーの発掘育成のための仕組みづくり)はFプロジェクトでは実施しない。実施項目から削除。

・安心安全な環境づくり(自治会、各種団体、行政等との連携協力体制充実)はFプロジェクトでは実施しない。実施項目から削除。

⇒今後Fプロジェクトは広報活動を中心としたプロジェクトとする。

《平成28年度実施計画》

・広報紙発行、つどいでPR活動、ささえあい活動部会と合同でヒヤリハットマップ作成。

・自治会からの推薦以外に、学区長推薦の枠を広げ今の委員に残っていただくようにする。

《意見》

・まちづくり協議会ふるさとづくり委員会には、まるごと活性化の具体化とまちづくりのビジョン企画研究があり、会長委嘱を5名から増員することでまちづくりビジョンについて取り組むなどの案があり、まちづくり協議会と協議する必要がある。

・経験豊かな方が役員改選で退かれるとまるごと事業の継続が難しく、残っていただく必要がある。

・学区長推薦で、個人的に残ってもらう場合は、その人についての仕事になってしまわないように、自治会長との十分に相談すること。

・各自治会の体制(たとえば女性が役員についていたり、事務員を雇用している等)がわかるようなものがあれば、自治会の見直しにつながるかもしれない。

4 平成27年度予算執行額(見込)

詳細資料のとおり

※当初Bプロジェクトのマップは業者印刷を予定していたが、今回は会館での印刷となったため予算が余ることとなった。返還するか他の物品を買うかで今回協議し、ビデオカメラを購入することとなった。

5 その他

○全体会の流れ・・・今回の会議をもとに各プロジェクトの報告、Fプロジェクトの実施計画
平成27年度予算執行額(見込)

○応援グループ・・・Aプロジェクトより、プロジェクトや学区の枠をこえてのイベントスタッフの活動を
応援するようなグループを結成するのはいかがかという提案。

→ボランティア登録の形ではなく、「だれが何を得意として、どういったものなら出てきてくれるか」を把握し、事務局でイベントごとにマッチングする形の方が良いのではないかな。

・すべてのイベントごとに登録制は大変なので、まずはサイクリングだけに絞るのはいかがか。

⇒平成28年度はサイクリング大会時に、ボランティアを市広報に募る。

決定事項	Fプロジェクト実施項目、予算執行、応援グループの取り扱い
次回以降について	全体会も今回の会議を元に行う